



グリーンガーデンの梅が咲き、水路沿いの河津桜のつぼみも膨らんできました。「三寒四温」寒さと暖かさを繰り返しながらも、着実に「春」を迎えようとしています。いよいよ3月、今年度最後の月を迎えました。3月19日(火)は卒業式です。学校で6年生と一緒に過ごすのもあとわずかです。「ありがとう」の気持ちをどんどん膨らませて、感謝にあふれた卒業式を迎えたいと思います。

全国学校給食週間!

日本の学校給食は、明治22年に山形県鶴岡町の忠愛小学校で始まりました。その後、全国各地に広がりましたが、戦争による食糧不足により中止せざるを得なくなりました。やがて、戦争が終わり、昭和21年にアメリカのアジア救済公認団体から食料物資の提供を受け、12月24日に、東京、神奈川、千葉で試験給食が実施されました。そのため、それ以来、12月24日が「学校給食感謝の日」と定められました。その後、昭和25年に、「学校給食における教育効果を促進する」ことを目的として、冬休みと重ならない1月24日から1月30日までの1週間が「学校給食週間」となりました。



日本の学校給食は、衛生概念や生産者や調理者への感謝など、「食」に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために重要な役割を果たしており、「学びの場」として、海外でも注目されています。

「食育」とは？

- 生きる上での基本であって、知育・徳育及び体育の基礎となるべきもの。
- 様々な体験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる。

食をめぐる現状と課題とは？

- 食環境の変化・・・外食、調理済総菜、弁当等
- 栄養の偏り・・・脂質の過剰摂取や野菜の摂取不足
- 不規則な食事・・・朝食の欠食、深夜の夕食、ネット依存等
- 肥満と過度の痩身・・・運動不足、無理なダイエット等
- 生活習慣病の増加・・・糖尿病、メタボリックシンドローム等
- 食に関する感謝の念の欠如・・・食べ残し、食農体験不足
- 食の海外への依存・・・食料自給力の低水準国
- 伝統的な食文化・・・伝統的な食文化の継承、和食のユネスコ登録
- 食の安全上の問題・・・食の安全性についての関心の高まり

白熱!伯仲! 百人一首大会!



2月に入り、「日本の伝統文化にふれる。」「言葉の美しさやリズム感、歌に表される情景などを感じ、日本語の持つ豊かな表現を味わう。」ことを目的として、図書委員会が「坊主めくり大会」「かるた大会」「百人一首大会」を開催しました。グループ戦では、低学年・中学年・高学年の部が行われ、各学年から選ばれた6人の選手が2組に分かれて対戦をしました。また、グループ戦で取り札の多かった人が個人戦への出場権を獲得しました。どの選手も真剣モード全開、「ハイ!」の声と同時に手がさっと伸びていました。とても楽しい会となりました。



「百人一首」とは？

「小倉百人一首」が有名で、平安時代末期から鎌倉時代初期に、藤原定家が選んだものと言われています。飛鳥時代の天智天皇の歌から、鎌倉時代までの100人の歌人の優れた和歌が集められています。江戸時代になって木版画が普及する中で、絵入りの歌がるたとして広まり、人々が楽しく遊ぶようになったそうです。「百人一首」には、「かるた競技」「ちらし取り(おちらし、ばら取り)」「源平合戦」「坊主めくり」など、いろいろな楽しみ方があります。「小倉百人一首」を使った競技かるた大会が、全国各地で行われています。

和歌、短歌、俳句、川柳の違いは？

和歌・短歌 5・7・5・7・7の文字数

※和歌は、短歌、長唄、旋頭歌(せどうか)などの総称。華やかで美しい言葉を、いかに、うまく使うかがポイント!「百人一首」が有名。
※時が経つにつれて、短歌以外の歌がすたれてきたことから、現在は、「和歌=短歌」となってきた。

俳句 5・7・5の文字数

※「季語」を必ず使わなければならない。日本の美意識の「わび・さび」を大切に
する。「奥の細道 松尾芭蕉」が有名。

川柳 5・7・5の文字数

※「季語」は使わなくてもよい。決まりがなく、だれにでもわかりやすいテーマが多い。「サラリーマン川柳」が有名。



葦（よし）から環境を考えよう!



夏の日よけ対策として、葦簀（よし）や簾（すだれ）の材料として使われているのが葦（よし）という植物です。倉敷川や児島湖周辺にもたくさん自生して群落となっています。葦は、**児島湖の鳥類・魚類の繁殖の場**として重要で、湖水に含まれる窒素やリンを吸収することから**児島湖の水質保全**にも役立っています。岡山県では、児島湖のゴミの回収を行うとともに、葦の刈り取りを行い、その大切な群落を健全に維持するための管理を行っています。

なださきレークサイドパーク

北七区では、学校の1.5倍の3ヘクタール以上の面積が毎年刈り取られています。今年、「**児島湖に親しみ、廃棄物のリサイクルなどの関心も高める**」ことを目的として、2月14日、4年生が、レークサイドパークの葦の刈り取りにも挑戦しました。葦は太く堅かったため、子どもたちは苦労していましたが、「**七区の千両ナスの支柱や堆肥として使われている。**」と聞いて、元気を取り戻し、一気に刈り取りました。



刈り取りの後、社会科と総合的な学習のまとめとして、「**身の回りの環境問題を通して、環境保全のために自分たちができることを考え実践する**」を目的として、環境学習・葦のリサイクル工作にも挑戦しました。
七区小唄、水門やポンプ場見学、児島湖流域下水道浄化センター見学などの学習、児島湖畔環境保全アダプト事業（ミニボランティアや環境整備）などを思い出しながら、児島湾の干拓の歴史と児島湖の環境保全などについて、理解を深めることができました。
葦のリサイクル工作では、助け合い、楽しみながら活動し、学びを深めることができました。

**七区の自然を守るために
自分や家族で できることを考えよう!**

【3月の行事予定】

日	曜日	内 容
1	金	地区別児童会
2	土	
3	日	
4	月	児童朝会 クラブ PTA新旧役員会
5	火	集金日 学校保健安全委員会 1～4年15:10 5・6年16:00 (見守り日)
6	水	牛乳パック・ベルマーク収集
7	木	牛乳パック・ベルマーク収集 6年生を送る会準備
8	金	6年生を送る会 卒業式前環境整備
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	学年下校15:00 (見守り日)
13	水	
14	木	卒業式予行
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	6年生給食最終 卒業式準備 1～3, 6年13:55 4, 5年15:50
19	火	卒業式 灘崎中学校物品販売
20	水	灘崎中学校区地域協働学校連絡会
21	木	
22	金	給食最終日 大掃除 学年下校15:00
23	土	
24	日	
25	月	修了式 学年下校11:40
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

春が近づいてきました!



6年生を送る会に向けた準備と練習が始まっています。5年生は、しっかりと自覚をもち、6年生を目標にがんばっており、頼もしさを感じています。



心配していた桜草とパンジーの株も大きくなり、次々と花をつけ始めました。花いっぱいの学校で卒業をお祝いしたいと思っています。